

BIPS「公開セミナー」のお知らせ

「人間関係、自然との関係を豊かにするために大切なこと」を学ぶ 母子関係の研究に基づく身体心理療法的アプローチ

主催：BIPS（ヨーロッパ身体心理療法協会認定校）

近年、赤ちゃんの脳・心・身体の発達を、科学的なアプローチによって解明をしようという「赤ちゃん学」が目覚ましく広がっています。そして、これまで以上に母子関係の重要性にスポットライトが当たっています。身体心理療法（Body Psychotherapy）の学派の一つである、イタリア発のバイオシステムクスでは、母子関係を中心とした関係性のなかで「心と身体がどのように影響を受けるか」ということを、発達心理学者で有名なダニエル・スターン（『乳児の対人世界』の著書）を顧問に迎え、長年、研究を続けてきました。「赤ちゃん学」が発展している現在、バイオシステムクスが行ってきた研究、及び心理療法への評価はますます高くなると考えています。

バイオシステムクスでは、心理療法の目的を「感情の自己調整力を高めること」と定義しています。「自分の気持ちを内面でどのように扱い、関係性のなかでどのように表現するか」という能力を高める、ということです。この能力が高ければ、ひとりの人間として自立しながら、他者や自然との絆を強くすることが可能となり、何か大きな出来事で土台が揺すぶられたとしても自分を保つことができるでしょう。他者と情緒的な繋がり喪失、自然の脅威、経済状況の不安定さなど、不安定な要素が蔓延している現代社会において、このような能力を回復することは、子供にとっても大人にとっても、大切なことではないでしょうか。

今回のセミナーでは、お母さんと赤ちゃんの関わりをビデオに録り、そのなかで起きている現象を詳細に解析していく「マイクロトラッキング」の研究成果に基づいた「感情の自己調整力の高め方」を体験を通して学んで頂きます。お子さんと親御さんに関わるお仕事の方、親御さん本人、自分自身の自己調整力を高めたい方などにお勧めのセミナーです。初夏の爽やかな気候の清里で、新鮮な地元の野菜を使ったバイキング料理を戴きながら、有意義な時間を過ごしてみませんか？

公開セミナー情報

日 程：2013年6月28日（金）13時開始（12時30分受付開始）
30日（日）14時終了

※合宿形式のセミナーとなります。

講 師：モーリッツィオ・スチューピージア（BIPS国際トレーナー）

通 訳：国永史子（BIPSディレクター）

スタッフ：豊川治樹（BIPSディレクター）

対 象：一般の方、専門家問わず、ご興味のある方

定 員：25名

料 金：68,000円（消費税、2泊4食付き）

会 場：伊予ロッヂ（JR小海線清里駅より送迎バス）
山梨県北杜市高根町清里 3545

申込期日：2013年6月20日

振込期日：2013年6月24日

問合せ先：BIPS事務局（豊川）MAIL：office@bodypsychotherapy.jp

FAX：050-3488-7614

申込方法：名前・住所・連絡先を明記の上、BIPS事務局までお申込みください。

キャンセル料：14日前：0%（参加費全額返金致します）

13日～4日前：50%（キャンセル料は参加費の50%）

3日以内：100%（キャンセル料は参加費全額）

（注）いずれの場合も返金の際の振込手数料をご負担頂きます。

BIPSのサイトには、BIPSの紹介はもちろんのこと、セラピスト養成コースの情報や身体心理療法の各学派の公開論文を掲載していますので、ご参照ください。サイトアドレス <http://www.bodypsychotherapy.jp>

講師略歴

モーリッツィオ・スチューピージア（Maurizio Stupiggia）

イタリア人の心理療法家、心理学博士、哲学者。イタリア身体心理療法協会役員（評議員）、ジュセルドルフの西ドイツ大学助教授、ボローニャ大学グループカウンセリング客員教授、ヨーロッパ身体心理療法協会理事。身体心理療法の1つであるバイオシステムクス学派（神経生理学と母子関係などのシステム理論を重視した身体心理療法）の重鎮であり、グループダイナミクスを用いるワークに優れ、ビデオを使った母子関係のマイクロトラッキングの研究から得られた成果を心理療法に活かしている。トラウマに関しては、バイオシステムクス学派の創始者、ジェローム・リス博士がスティーヴン・ポージェス博士と親交があることから、最新の情報を心理療法に活かしている。2007年には肉体的虐待のトラウマへの身体心理療法のアプローチの本（イタリア語）を書き、世界的に評価される。

